

第3次千葉県青少年総合プラン 令和3年度事業評価シート

事業NO	16
------	----

事業名	いきいきちばっ子食育推進事業		
担当課・室・班名	教)保健体育課 給食班	問合せ先(電話番号)	4095

1 事業の概要

柱	I	基本目標	1	基本方策	②健康と安心の確保					
事業内容	「ちばの食」を通じて子どもたちの健やかな体を育むとともに、規則正しい生活習慣を身につけさせるため、食育ノートの活用や体験型の食育活動を行うなど、学校における食育を推進する。									
当初予算額(千円)	H30年度	2,200	R元年度	2,274	R2年度	2,274	R3年度	2,293	R4年度	2,027
決算額(千円)		1,079		1,548		1,168		1,310		
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○		○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・令和3年度も令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食に関する指導事業地区別研究協議会は開催できず書面開催としたことや、地域における食育指導推進事業も規模を縮小しての実施となった。
 ・高等学校と連携した食育活動支援事業では、県立高等学校2校、小中学校3校で実施した。令和2年度の実践事例については、研修会等を活用して紹介を行った。
 ・高等学校における食育推進のためにリーフレットを作成し、県内全高等学校の1年生を対象に52,000部を発送した。

(2)事業の成果

・新型コロナウイルス感染症の影響により、規模や開催方法等を変更したこともあったが、食に関する指導事業地区別研究協議会をはじめ地域における食育指導推進事業では県の施策や実践事例について周知し、各学校における食育の推進を図ることができた。
 ・高等学校と連携した食育活動支援事業では、高等学校の園場を有効に活用し、支援校である高等学校と参加校である小中学校の児童生徒が苗植えや収穫等の体験を通して関わりをもち、コロナ禍においても食育の充実を図ることができた。
 ・高等学校における食育の推進では、リーフレットを作成・配付したことで、高校生への食の自立に向けた意識を高めることができ、健全な食生活の実践に向けた食育の推進に効果的であった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・地区別研究協議会では、「第4次千葉県食育推進計画」で示された内容や施策等を確認し、各学校における食育がより一層充実するように進めていく必要がある。また、本計画に関連する事業等を積極的に周知していき、各学校の教育活動全体を通じて食育を推進していけるように働きかけていく必要がある。
 ・高等学校と連携した食育活動支援事業では、研修会をはじめホームページを活用しながら実践内容を広く周知していけるように進めていく。
 ・栄養教諭を中心とした食育活動の更なる充実のために、地区別研究協議会や公開授業等を通して食に関する知識を高め、互いに情報共有等を図ることができるようにしていく。

○参考

関連指標	[基本的な生活習慣の形成] 朝食を毎日食べていると答えた児童生徒の割合 <全国学力・学習状況調査>					目標	増加を目指します
	基準年(H29)	H30	R1	R2	R3	R4	
	小学校6年生 95.2% 中学校3年生 92.2%	小学校6年生 94.1% 中学校3年生 90.8%	小学校6年生 94.8% 中学校3年生 92.0%	全国学力・学習状況 調査中止のため未実施	小学校6年生 94.9% 中学校3年生 92.8%		

4 委員意見

--